



大島くるみ病院便り

今年の夏の暑さは、偏西風の影響で日本の上空に2つの高気圧が居座った影響があったそうです。2層の高気圧の下、雲がでにくくなって雨が少なくなり、日が陰らないことで直射日光が照りつけ連日の猛暑となりました。気象庁が発表した6~8月の天候まとめでは、平均気温が東日本（関東甲信越、東海、北陸）で平年を1.7度上回り、統計を取り始めた昭和39年以降最も高くなったそうです。これから温暖化の影響等で、毎年暑い夏になっていくのでしょうか。抜本的な対策は、地球規模での話で、一般市民としてはどうしようもないのですが、家庭や職場での熱中症対策は、これからはっきりとする必要がありそうです。

納涼祭

日時：平成30年8月5日（日）

13:30~14:30

場所：大島くるみ病院
北2階 ホール



今年も恒例の納涼祭が行われました。スタッフやボランティアの方の踊りに合わせて、手や腰を振り、音楽に合わせて、歌を口ずさんだりと楽しいひと時を過ごしました。



《プログラム》

1. 始めのあいさつ
長堀院長
2. うさぎダンス
森のこびと保育園のお友達
3. お祭りマンボ
大島くるみ病院スタッフ
4. ハワイアンバンド フラダンス
パームブリーズ
5. 合唱「たなばたさま」

9月 BirthdayDay

藤井 忠雄様 79歳	川西ゆり子様 91歳	能町をさむ様 92歳
新川 邦子様 85歳	金森久美子様 85歳	嶋田 泰子様 88歳
羽岡 孝子様 84歳	武部 豊様 70歳	牛塚 義雄様 77歳
小塚 久之様 77歳	木山 達子様 78歳	嶋 勝 様 77歳

デイケア・ショートケアのご利用の方も掲載しています

今月の顔



デイケア 木山達子様



医療情報 秋の花粉症

今の時期、クシャミ、鼻水、目のかゆみが続いたら、秋の花粉症かもしれません。花粉症といえば春のイメージが強いですが、実は秋にも原因となる花粉は飛んでいます。

秋の花粉症を起こすのは空き地や河川敷に繁殖する雑草で、ブタクサ、ヨモギといったキク科の植物の他、カナムグラ（アサ科）、カモガヤ（イネ科）などがあります。

8～9月頃から花粉が飛び始め、10～11月頃まで続きます。

★日常生活でできる対策法★

春の花粉症の原因になるスギやヒノキは花粉が上空の風に乗って遠方まで飛散するのに対し、秋の花粉症の原因になる雑草は高さがせいぜい2メートル程で花粉が飛散する範囲は数十メートル程度と狭いのが特徴です。自分の生活圏に繁殖していないかを調べ、原因植物の繁殖地に近寄らないだけでも十分予防になります。

また、帰宅したら家の中に花粉を持ち込まないように髪の毛や衣服をはたいてから家に入るようにしましょう。



●ブタクサの豆知識●

- ・マッカーサーの置き土産といわれ、明治初期に渡来し、戦後全国に拡大
- ・日本で初めて報告された花粉症はブタクサ花粉症



感染研修

耐性菌とサーベイランスについてのビデオ研修が行われました。近年増加している耐性菌の危険性と対処方法について学びました。



実施日：8月
3日・6日・8日
参加者：124名

☆編集後記☆

酷暑が続いた今年の夏ですが、まだまだ残暑が続くそうです。夏の疲れも出始める頃ですが、食事と睡眠をしっかりと、暑さに負けないように乗りきりましょう。(Y.K)

基本理念

患者様の生命と人権を尊重した医療・看護・介護に努めます。
信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。
地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。
職員は常に自己研鑽に励み、医療・看護・介護の質の向上に努力します。平成23年3月7日改定

運営指針

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し安心と納得の医療に努めます

スイカ割り

ショートケアではレクリエーションとして8月13日（月）～18日（土）にスイカ割りを行いました。スイカに見立てたビーチボールを、周りの皆さんの声を頼りに叩くゲームを楽しみました。その後、本物のスイカをおいしく頂きました。



この辺かな？

がんばるよー



新入職員紹介



南3階病棟 看護師
工 希さん
入職日：4月2日

患者さんやご家族に寄り添う気持ちと、笑顔を忘れずに頑張ります。